

まつたけ 松竹住宅建設事業

受賞機関 愛知県建設部住宅整備課

はじめに

県営松竹住宅は愛知県江南市の西端部に位置し、北方に位置する公団江南団地とともに、江南市の住宅団地エリアを形成している。

本建設事業は平成7年度から平成13年度にわたり、鉄筋コンクリート造8階建と鉄筋コンクリート造4階建の2棟の住宅を建設したものである。

当住宅は、大規模団地として江南市の公営住宅団地としては代表的な存在で、これを単なる画一的な景観をつくり周囲に埋没させるのではなく、団地形態が豊かな住生活環境を表すシンボルの景観（ランドマーク）の形態となるよう計画を行った。

団地概要

建設場所：愛知県江南市松竹町地内

用途地域：第1種中高層住居専用地域

建ぺい率60%、容積率200%

敷地面積：33,585.97㎡

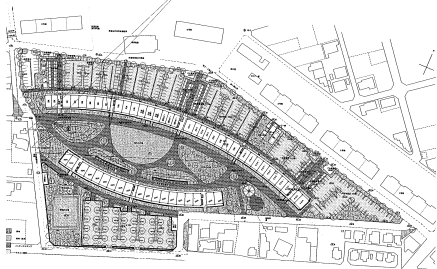
施設概要：

- 北側住棟 鉄筋コンクリート造8階建 280戸
建築面積2,780.19㎡、延床面積19,805.57㎡
- 南側住棟 鉄筋コンクリート造4階建 76戸
建築面積1,464.93㎡、延床面積5,812.32㎡
- 付帯施設
 - ・集会所兼高齢者生活相談所
鉄筋コンクリート造平屋建
建築面積、延床面積70.00㎡
 - ・自転車置き場 534台
 - ・駐車場 356台

事業の特徴

- 柔らかな生活領域を創出する住棟計画

北側の住棟は、8階建が連続して260m連なり、道



路境界線に沿って半径300mの緩やかなカーブを描いている。このカーブは、北側の道路からの景観に対して圧迫感ではなく伸びやかさを与え、中庭に対しては緩やかな領域性を感じさせる。

南側住棟は、北側住棟に呼応して半径約200mのカーブを描き、中庭の領域性を高めている。

南北の住棟の複合によってもたらされる景観は、周辺や尾北地域はいうに及ばず全国的にも類を見ない独特のものであり、その大らかなスケール感と優しい形態で、公営住宅のシンボルにふさわしいものとなっている。また、住民にとってもこの形態とボリュームは他の団地と明確に区別することができ、「私達の街」としての存在感を意識上にもたらすには十分なものとなった。

- 出会いの場作りとしての外構計画

集合住宅が街になるためには、住民同士の近所付き合いがあり、共用部分が住民同士の共有領域として認識され、住民の目が行き届き、安心して暮らせるようになることが必要であると思われる。南北の住棟に緩やかに包み込まれた中庭は、歩車分離を積極的に進めることにより、歩行者優先の安全なスペースになっている。

南側住棟の北側から北に向かって、緩やかな芝生のスロープとし、芝滑りや中庭の観覧席として利用される。このスロープの中ほどにはシンボルとして築山を設けている。

中庭の北側は遊歩道を設け、住棟からの通路により団地の人々が容易にアプローチでき、団地の人々の出会いの場となり、主婦の井戸端会議の場となり、子供や老人が日だまりで楽しい時間を過ごせる場としている。



団地の西から望む



団地の東から望む